

宮城大学 後援会報

Vol.7

発行
平成14年3月1日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学園1番
宮城大学後援会
TEL.(022)377-8381

編集
宮城大学後援会事務局

会場ギツシリの講演会 鉄人料理人は生涯現役!

平成十三年十一月三日(土)の大学祭初日、後援会ではフレンチの鉄人坂井宏行氏をお迎えし講演会を開催、大講義室は二百八十七名の参加者で埋まった。「料理の鉄人(最終回)」のビデオ放映で幕を開けた講演会は、事業構想学部恩地宏教授との対談形式で行われた。坂井氏と恩地教授は、日光金谷ホテルの創設者が、一九七四年六本木に「西洋膳所ジョン・カナヤ」を開業する際の初代料理長と開業責任者という関係。ユーモアあふれるお二人の対談に、会場内は笑いが絶えなかった。

「料理の鉄人」出演の感想に始まり、料理用語の説明、店名の由来、坂井氏の好物料理等と話は展開する。非常に具体的な内容ではあったが、坂井氏の人としての生き方や、常に状況を的確に捉え、勝ち組みに入ってきた体験談には随所にキラリと光るものが散りばめられていた。店名の「ラ・ロシエル」は、大西洋に



シェフコート姿で対談する坂井氏(写真右)
= 11月3日 大講義室

面したフランスの港町の地名、入り江から見える風景が大変素晴らしいこの町は、若い画家に好んで描かれ、彼らの多くが世に出たことから「店を出すときはこの名前だ」と決めていたそうだ。そのお店でレストランウェディングを始めるなど、新しい分野にも挑戦している。

坂井氏は、料理とはその人の感性だといふ。自分の感性をお皿の上に表現できなければ自分のスタイルは完成しない、と言いつつ、生涯現役で、いつか料理を

こんな人のこんな話 —講演会アンケート結果より—

Dr.コパ、NHKプロジェクトXの制作者、仙台市長、石原伸晃、伊奈かつぱい、岩井俊二、宇宙飛行士、おすぎとピーコ、乙武洋匡、ガッツ石松、北野たけし、黒柳徹子、浅野知事、小泉総理、今野東、坂本龍一、椎名誠、島田紳助、セイン・カミュ、高橋尚子、武田鉄矢、田嶋陽子、田中眞紀子、田村亮子、陳健一、長嶋茂雄、中坊公平、葉加瀬太郎、フジコ・ヘミング、道場六三郎、柳田邦男、吉永小百合... etc.

今後、みなさんに楽しんでいただける講演会を開催したいと思います。講演会に関してのご意見を事務局までお寄せください。お待ちしております。

記事一覧

- 2面... 後援会の取り組み
- 3面... 熱い2日間、大学祭
- 4面... キャリア開発室便り
- 奨学金のご案内

坂井氏は一九四二年鹿児島生まれ、十七歳でフランス料理の道に入り、一九八〇年三十八歳で独立。青山に「ラ・ロシエル」を開店、渋谷に店を移転し現在に至る。一九九四年からフジテレビで放映された人気テレビ番組「料理の鉄人」でフレンチの鉄人を六年務め、最終回で最強の料理の鉄人となる。

通じて自分の館ができることを希望しているそうだ。常に新しいものに挑戦しつづける坂井宏行氏の更なる活躍を、心よりお祈り申し上げたい。

終了後、参加者全員に坂井氏のクッキーとレシピがお土産としてプレゼントされた。また、学生がゼミの一環として行った、書籍やドレッシング、クッキーの販売も大好評だった。

会員と教職員の懇談会 鉄人のレシピ登場



和やかに歓談する会員のみなさん
= 11月3日 大学レストラン

井氏ご自身にもご参加いただいた。今後モ楽しい企画を、考えており、会員の皆さまのご参加をお待ちしたい。

講演会に引き続き、大学内レストランにおいて、後援会会員と大学教職員との懇談会を開催した。今回は会員五十二名、教職員二十名の方々にご参加いただいた。



坂井シェフオリジナル料理も用意されて...

本年度の主な取り組み

《13年度 事業報告》

- 4月・総会（事業報告・計画、決算報告・予算案）
・第1回理事会開催（新入生歓迎パーティーの収支計画についてほか）
・学生会助成（上半期分）
 - 5月・第2回理事会開催（サークル助成、講演会事業についてほか）
 - 6月・サークル助成
 - 7月・後援会報6号発行
・看護学部大学説明会開催
・第3回理事会開催（卒業記念事業、講演会事業についてほか）
 - 8月・定期健康診断助成
 - 9月・三者協議会（開催）（講演会事業についてほか）
 - 10月・三者協議会開催（講演会事業・懇談会についてほか）
・学生会助成（下半期分）
 - 11月・大学祭助成
・坂井宏行氏講演会、懇談会開催
 - 12月・第4回理事会開催（教職員との意見交換会）
 - 1月・第5回理事会開催（卒業記念事業、ホームページ、終身会員制度についてほか）
 - 3月・後援会報7号発行
・会計監査予定
・第6回理事会開催予定
・卒業生への記念品等配布予定
- 三者協議会 = 理事代表、大学教職員、学生代表によるもの

後援会、設立5年目へ

開学後一年遅れて発足した宮城大学後援会は、本年度で四年間の一巡を終え五年目に入る。

四年一巡とはいっても、大学本体のように四年という数字にはそれほど意味はない。昨年度第一期生を送り出しており、その意味で後援会として経験すべきパターンはすべて経験した、ともいえ

ともに育てる大学に!

大学教職員&後援会役員 意見交換会

十二月十七日に開催された後援会理事会において、大学教職員との意見交換会が行われた。大学からは、福田学長をはじめ副学長、看護学部長、事業構想学部長など大学を代表する先生方が出席した。今春卒業する第二期生の就職内定率が、第一期生同様、好調に推移しており、未内定者についても引き続き就職支援活動を行っている報告がされた。

理事からの要望として、大学に対して情報発信や、魅力ある大学づくりについての質問がなされ、開学当初の教育理念等を再度見直し、社会が求める人材育成に努めていくことが重要であるとの結論に至った。

今回は、大学の将来像について前向きな意見が出され、大変有意義なものとなった。

る。ただ、父兄の側からすれば、子息の四年間の学園生活を支える金額として四万円を負担しており、父兄の期待にこたえる役割を何とかこの四年間担ってこれたことをみんな喜んでほしい。無論、大学事務局、後援会事務局のご苦労があったこと。

会が発足してしばらくは、手探

りの運営が続いた。学生活動のどこに厚く手当てし、どこを締めるか、学生諸君の代表と話し合いも持った。単なる資金配分団体にならないよう、講演会、懇談会という自主事業も大学祭に併せ開いた。一巡目はマンネリになりがちだ。幸い、会のホームページが開かれる。役員会の議論を含め情報を公開し、透明な運営を心掛けた。気軽にアクセスし、意見を出してほしい。

(副会長 穴澤鉄男)



互いに意見を出し合う後援会役員と大学側 = 12月17日 大学会議室

終身会員制度のご案内

後援会では、今年度から終身会員制度を開始いたしました。

この制度は、学生の卒業に伴い後援会を離れる会員の方々が、卒業後も宮城大学を支援していくというものです。「宮城大学ファンクラブ」的性格を併せ持ち、会員の皆さまの希望によりご加入いただくものです。

会費二万円、年一回発行の後援会報や大学及び後援会主催行事のご案内を二十年間送付いたします。将来的には、大学の研究成果等についてもお知らせしたいと考えております。

制度の趣旨をご理解いただき、多くの方々にご賛同いただきたくご案内申し上げます。

入会は、随時受け付けております。また、卒業式当日も受け付けますので、お気軽にお尋ねください。

第二期生の卒業記念事業につきまして、学生の意見も取り入れ理事会で検討した結果、左記のとおり決定いたしました。

- 学生に対する記念品
- 看護学部：印鑑付きボールペン
- 事業構想学部：名刺入れ
- 大学に対する記念品
- 桜の苗木
- 謝恩会への助成

なお、桜の木は大学内の池の周辺に植栽する予定です。

MYU

後援会ホームページを開設します

後援会の事業内容等を会員の皆様はじめ多くの方々にご理解いただくため、ホームページを開設いたします。

後援会の概要や理事会会議録等を掲載しておりますので、是非一度ご覧になってください。宮城大学のホームページからもアクセスできます。

事務局ではご意見をお待ちしております。

<http://www.myu.ac.jp/~kouenkai>



平成13年度大学祭メインイベント
「CRAZY JAZZ STEPS」=大階段

大学のシンボル・大階段をステージにして開催されたジャズライブ。観客と奏者の距離を無くしたいという意図から段々になっているようなステージは設けず、必要最低限のラインで客席と密着する形で、迫力い



二〇〇一年十一月三、四日の両日にわたって開催された第五回宮城大学大学祭。計四千五百人の来場者を数え、「2 FEVER」のテーマのもと、熱く開催された二日間をお伝えしたい。

きるものだった。正にFEVERで

学祭実行委員が「スカウト」した。大階段は想像以上に音響効果が高く、ときにムーディーな演奏は、階段に腰掛けて聴き入ってくれた来場者の方のみならず実行委員にとっても、

たところを、大

二〇〇一年十一月三、四日の両日にわたって開催された第五回宮城大学大学祭。計四千五百人の来場者を数え、「2 FEVER」のテーマのもと、熱く開催された二日間をお伝えしたい。

MYU FESTIVAL 2001 学生たちの熱い熱い2日間

（MIX）主催のパネルディスカッションなどが行われた。ちょっと変わったところではそば打ちの体験コーナー（しかもその場で食べら

本部棟内では、サークルや学生有志の絵画や写真などの作品展示やサークルの活動紹介、公立大学間の交流や連携を促進している東北公立大学連盟

本部棟前に設置された野外特設ステージでは学生有志によるバンド演奏やダンスなどが繰り広げられ、ステージを囲むように設置された露店街ではさまざまな料理や菓子、模擬店が

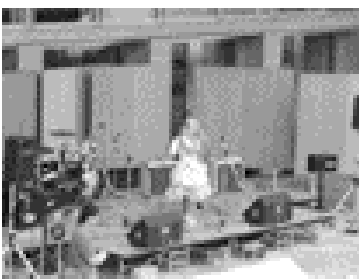


そば打ち体験のできるコーナー
=本部棟3F



れる）なども、このコーナーのそばは、講演にいらっしやっただ坂井シェフも召し上がり、思わずその味を絶賛したほどおいしかったか。

立ち並ぶ。当日はあいにくの天候だったため、時折模擬店のテントが飛ばされそうになって浮き上がり、慌てて重りをくくり付けるといふ事態も起こってしまった。幸い大事には至らず、大勢の方に露店を利用していただいた。



特設ステージで歌う学生有志
=野外特設ステージ

味の良いものとなり、執行部のモチベーションも低下してしまします。この状況を改善するため、学生向けeメールなどで広く意見を集める、また意見交換の場を設けるなどして多くの学生に学生会への感心を持ってもらい学生会のポトムアップを図っていきたいと考えております。

— 双方向の学生会を目指す — 学生会執行委員長に就任して 専攻計画学科1年 佐々木建介

きしたキャンパスライフがおくれるよう職務に取り組んでまいります。今後も学生会を厳しくも温かい目で見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。

宮城大学に入学してまだ一年にもならない私がこういった大任を預かり、意欲と不安が入り交じった現在の心境ですが、この春入学する新入生を引っ張り、より生き生きとしたキャンパスライフがおくれるよう職務に取り組んでまいります。今後も学生会を厳しくも温かい目で見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。

今回、新しく学生会執行委員長となりました事業計画学科一年の佐々木建介です。



ヨも低下してしまします。この状況を改善するため、学生向けeメールなどで広く意見を集める、また意見交換の場を設けるなどして多くの学生に学生会への感心を持ってもらい学生会のポトムアップを図っていきたいと考えております。

キャリア開発室便り

採用担当者との交流

—看護学部 大学説明会へ参加

キャリア開発室では、平成十三年度学生の就職活動支援のひとつとして看護学部説明会を十三年七月四日にホテル仙台トラザを会場に開催しました。四十五カ所の病院や福祉施設等の職員採用担当の方（七十四人）に学部の広報をすることも、四年生学生との交流が深められました。（事業構想学部については、平成十二年十二月に開催しました）

2期生の就職内定も順調

第一期生の就職は、好調な結果となりました。これもひとえに皆さま方のご理解とご協力のためものと感謝申し上げます。引き続き二期生の就職状況も、一期生同様、次のとおり順調に



県内外の医療機関から多数の採用担当者が参加
=7月4日 ホテル仙台プラザ



積極的に情報収集に取り組む看護学生

進んでいます。

看護学部

就職内定率は、既に一月において九割を超える状況でした。内定先は、内定全体の八割が首都圏や地元の中心的な大・中規模の総合病院の看護師で、二割が保健師・養護教諭・助産婦学校への進学となっています。

事業構想学部

近年の厳しい就職戦線の中、内定第一号は三月でした。内定率も四月、五月と徐々に増え、六月をピークとして、秋には終息しました。内定先は、事業計画学科は、首都圏、仙台地元を中心に、大規模企業から小規模企業まで、業種・職種について、多方面において内定を受けていて、デザイン情報学科（情報システムコース）は、情報技術（IT）関連業界中心で、同学科（空間デザインコース）は、建築・設計関連業界へ進んでいる状況です。
(キャリア開発室 佐々木康治)

平成13年度 就職内定状況 (平成14年3月1日現在)

学部・学科・コース		卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職(内定)者数	就職(内定)率%	
看護学部	看護学科	95	8	86	85	98.8	
事業構想学部	事業計画学科	120	15	94	85	90.4	
	デザイン情報学科	情報システムコース	34	0	33	32	97.0
		空間デザインコース	52	10	38	31	81.6
計		301	33	251	233	92.8	

奨学金のご案内

募集は事務局前掲示でお知らせします。推薦できる人数には限りがあります。

- 日本育英会奨学金
学内の審査を経て推薦します。
・第1種(無利子償還)
学部 月額42,000円(自宅通学)
48,000円(自宅外通学)
大学院 月額85,000円
・きぼう21プラン(有利子償還)
学部 月額30,000円~100,000円
大学院 月額50,000円~130,000円
- 宮城県看護学生修学資金(1年更新)
月額32,000円(無利子)
募集時期は例年4月上旬
- その他
・庄慶会奨学金 月額42,000円(無利子)
・亀井奨学金 月額30,000円(無利子)
(外国人向け奨学金)
・文部科学省学習奨励費 月額52,000円(返還義務なし)
・亀井奨学金 月額50,000円(返還義務なし)

詳しくは事務局学生班にお問い合わせください。また、各地方公共団体等でも奨学制度を設けている場合がありますので出身の都道府県・市区町村に直接問い合わせてください。

シリーズ 教員からの一言
事業構想学部教授



三橋 勇

私は、時世と客観性をもつて宮城大学を考へるものを取り

るものである。

日本社会は、ここ半世紀に渡り経験したことのないような、国の浮沈に関わる大変な岐路に立たされている。それは、曖昧を真髄とした日本の諸習慣に対する欧米社会からのYESかNO表現への転換強要ともとれる。また、経済における混沌は、日本の企業倫理への世界からの総括にも思えてならない。宮城大学は、一区切りとなる開学五年を終えようとしており、開学以来の経緯を省みても、宮城大学

発展への総括

の次のステップに向けた総括の必要があるように思われる。「宮城大学、また、その学生とは？」と世間に問うた時に、単に「いい大学、学生ですよ」と聞こえてくる程度で満足しているようでは、いつになっても東北の雄とは成りきれない。思い起こせば、開学時に一期生と接する中で、彼らが持っていた向学へのパイオニア精神というものを見せられた時の新鮮なインパクトは、二十五年の大学教員生活で忘れることができない。最後に学生諸君へアドバイス。最後に厳しい時代が迫っている折「井の中の蛙」にならず、サバイバルな時代に適応する能力と精神をも養って欲しい。また、ご父兄には、その助力を強くお願いする次第であります。

編集後記

終身会員制度が本年度スタートし、多くの方から入会のお申し込みをいただいております。このように毎年規模を拡大しながら会報をお届けしていくことに、編集者として大変な責任を感じますが、魅力ある紙面作りにも今後意欲を持って取り組んで参りたいと思っております。この会報制作にご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。

次回はさらに情報を満載して八ページの紙面でお届けする予定です。皆さまの御意見・ご感想をお寄せください。(後援会事務局) 連絡先

〒九八一 三三九八

宮城県黒川郡大和町学苑一番

宮城大学後援会事務局

TEL: 〇三三 三三三三 八三三三

FAX: 〇三三 三三三三 八三三三

Eメール: kouenkai@myu.ac.jp